

山盲だより 「むつぼし」第22号

発行 令和5年3月3日
山形県立山形盲学校

山盲祭より

期日：令和4年10月22日（土）

<発表の様子>

- ・ 幼小学部
 - 1・2・4年2組 「ぼくらの音楽」
 - 3年1組 「おかしなすきな2人のまほう使い」
 - 4年1組 「聞いたよ！さわったよ！感じたよ！わたしたちの詩の紹介」
 - 5年1組 「宿泊学習の思い出」
- ・ 中学部 「ぼくたちの地域紹介」
- ・ 高等部 普通科 「SDGs～わたしたちにできること～」
保健医療科・理療科（専攻科） 理療科紹介VTR「山盲戦隊イヤスンジャー」
- ・ 軽音楽部 ピアノ・ドラム演奏「群青」

今年度のPTA活動を振り返って

PTA会長

今年度も、コロナ禍の中PTA活動においても制限を余儀なくされ大変な一年であったと思います。

そんな中、PTA活動において「リサイクルウエス活動」をPTAの皆様、諸先生方の協力をいただき実施できたことが幸いと思います。

今後も不安な面も多々あると思いますが、児童・生徒の皆さんが元気に学校生活を送れることを願っております。

最後に、PTA活動にご協力いただき、皆様に感謝申し上げます。

体験することの大切さ

校長

経験や体験による気づきや発見を大切に、自分から取り組むこと、挑戦することができる児童生徒であってほしいと願っております。

小学部の遠足。水の冷たさ、足裏で感じる川底の石、遠くの友達の声。中学部のスーパーでの職場体験、高等部普通科の修学旅行、理療科の現場実習など。机上では学べない多くのことを学ぶ機会があり、目的をもって活動に取り組みました。

盲学校では、これからも体験活動を行ってまいります。今後とも保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

リサイクルウエス作り

令和4年11月2日（水）

今年度は新たなPTA活動として、リサイクルウエス活動に取り組みました。各家庭から回収した古着や古布をウエス（使い捨て雑巾）にする活動です。この活動は、「リサイクルによる資源の活用」、「施設へ寄付することによる地域への貢献」、「活動を通じたPTA会員の親睦」を目的としています。

今回のウエス作りでは、参加者のみなさんは黙々と規定のサイズに布を裁断する作業を進め、古着や古布がたくさんウエスに生まれ変わりました。来年度はより多くの方に参加していただき、PTA活動の大きな柱にしていきたいと考えています。

参加者からの感想

- ・切るところをなるべく少なくして布地を生かそうと工夫した。楽しくできた。
- ・布を型紙に合わせて切るという作業だったので、誰でも参加できる内容でよい。40分あつという間の時間だった。
- ・コロナが収まったら話をしながらできる活動なのでよいと思った。
- ・SDGsの取り組みとして継続できるとよい。
- ・頭を使って効率よく切り出そうとしたり、よく切れるハサミで思い切りよく切ったりしてストレス発散になった。
- ・役に立てるのはうれしい。

校内PTA研修会（紙面開催）

「視覚障がい児・者の進路と福祉サービス」

講師：本校進路指導主事

令和5年1月20日（金）

視覚障がい児・者が進路を考える上で大事なことや利用できる福祉サービスについて各家庭で資料をもとに研修しました。

アンケートより

- ・まだ先のことだと思い、あまり考えていなかったが、本人がやりたいこと、なりたい自分になれるようにいろいろなことを体験させてあげたいと思いました。
- ・本人の目標、やりたいことを一番に考え、これからどう進んでいくか話し合っていきたいと思います。
- ・今後の進路について資料を読みながら子どもとじっくり話すことができました。
- ・進路について、どのようにしていけばよいかとても参考になりました。

友遊自然塾

PTA行事の友遊自然塾は今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員が一堂に会しての開催は困難な状況でした。そこで、皆様から『自然の中で運動を行い、健康的な汗をかこう！』という内容で情報を募集し、通信で紹介することで交流を図りました。

「やまもうくん手ぬぐい」を配付したところ、デザインがかわいく、使いやすいと好評でした。

第46回山形県特別支援学校PTA連合会研修大会

令和4年10月19日（水）

「幸せに生きるために～みんなの心を元気に～」のテーマのもと、今年度も新型コロナ感染症予防の点から「ライブ&リモート方式」で実施され、本校からはリモートで参加しました。

全体会では、「withコロナにおける学校教育と医療」の演題で医師による講演があり、学校生活において、換気・マスク・ワクチンなどで十分に予防対策を講じながら、児童生徒の発達に必要な学習・活動を進めていくことが大事であるというお話がありました。

学校生活のひとこま

スクールコンサート

令和4年6月13日（月）

一流プロが演奏し、体育館いっぱい素敵な音の輪が広がりました。

ブラインドテニス体験

令和4年11月11日（金）

日本ブラインドテニス連盟東北地区協会の方が講師を務めてくださいました。ボールがラケットに当たった時の嬉しさを感じて夢中になった時間でした。

小学部 遠足

今年は、山形市の馬見ヶ崎川に行きました。川辺を散策し、流れの緩やかな所でサンダル履きで川の中に入ってみました。川のせせらぎの音、水の感触、いろいろな石の手触りなど、自然をたっぷり味わってきました。

中学部 交流学習

上山北中学校との交流を2回行いました。1回目は、合唱コンクールに向けた中間発表会でした。各パートの歌声が交わる音の響きを、肌で感じてきました。

2回目は、ふるさと上山についての探究学習成果の発表会でした。聞く人を引き付ける話し方や、クイズ形式を上手に取り入れた発表が大変勉強になりました。

交流学習ならではの刺激と経験を積むことができたよい機会となりました。

高等部普通科 山形再発見～修学旅行

令和11月1日(火)・2日(水)

「夕鶴の里」での機織りによるコースター作り、「わくわく館」での紅花染め、「山形県立博物館」での縄文の女神についての学習、「国際ホテル」でのテーブルマナー。様々な体験を通して山形の伝統や歴史、文化を改めて知ることができた修学旅行でした。

高等部理療科 スペシャリスト講演会

令和4年12月2日(金)

今年度は福島県二本松市にある「銀の森治療院」院長の渡辺健先生をお招きし、ユーモアあふれる楽しい講話や、鍼を使用しない通電療法による実技演習をしていただきました。

寄宿舎生活より

□夏の行事

6月30日にサウンドテーブルテニス交流会を行いました。舎生同士誘い合って練習に励んでいました。当日はくじ引きで対戦相手を決定しました。シングルやダブルスもあり白熱した対戦を見ることができ、終了後も話題に上るなど思い出に残る行事になりました。

□やまもーE a t s

今年度も恒例となったデリバリー形式の「やまもーE a t s」を行いました。舎生からのリクエストをもとにメニューを作成し、希望した日時に指導員が居室に配達しました。今回初めての舎生もいましたが、注文した飲み物とお菓子を食べ、「おいしかったです」「普段は買わないものを頼んだのでよかった」と好評でした。

□冬の行事「クリスマス出し物大会」

12月22日にクリスマス出し物大会を行いました。寄宿舎の生活の音を拾った「音クイズ」や「いつも何度でも」のキーボード演奏、先生方のハープ演奏やクイズで盛り上がりました。「金曜日ロード賞」や「腹直筋賞」などの楽しい賞や賞品をいただき笑顔があふれる会になりました。

卒業生からのメッセージ

将来に向けて一歩前進

高等部普通科3年

普通科に入学した時から「挑戦したい」という気持ちを常にもちながら学校生活を送ってきました。この3年間、様々なことに挑戦したり、体験したりして、できることが増え、以前よりも自信がついてきました。そして、自分の気持ちや思いを伝えることができるようになったと感じています。

4月からは、新たなスタートをきります。不安はあります。でも、一歩一歩前進していきたいと思います。

卒業を迎えて

高等部保健医療科3年

私は建設業の第一線で働いていました。ところが急に病気により視力が低下してきました。知人から盲学校を紹介され本校に入学しました。学校生活は辛い事の連続でしたが、これまでの4年間の学習を修め卒業できたことは、人生一つの区切りとなり、新たな出発点だと思います。

編集後記

コロナ禍で活動が制限される中ではありますが、1年の活動を無事終えることができそうです。ここに、「むつぼし第22号」を発行できますことうれしく思います。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

(PTA事務局)